

看護実践開発研究センター
令和7年度 認定看護師教育課程開校式

式辞

新入生の皆さん、山梨県立大学の認定看護師教育課程「感染管理」ならびに「認知症看護」分野へのご入学、誠におめでとうございます。本日、ここに高い志を抱く皆様をお迎えできましたことを、教職員一同、心より歓迎し、お祝い申し上げます。

また、ご家族・ご親族の皆様、そして職場の皆様など関係の方々にも心よりお慶びを申し上げます。

ご来賓の皆様におかれましては、これまでの本学認定看護師教育課程へのご理解とご支援に対して深く敬意を表するところであります。本日は、公務ご多用の中、山梨県知事代理 副知事 井上弘之（ひろゆき）様のご来駕（ごらいが）を賜り、誠に有難く、厚く御礼申し上げます。また、山梨県行政の関係部署の皆様、山梨県看護協会会長 佐藤悦子様、本学看護学部同窓会「白樹会」会長 山下清子様、そして受講生の所属施設の上司関係者のご臨席をいただき、心よりお礼申し上げます。

入学生の皆さんには、新型コロナウイルスパンデミックの折、医療現場の最前線にたち、日夜ご尽力をされてきたことに対し、心から敬意を表する次第です。人類の歴史は感染症との戦いと言っても過言ではなく、コロナ感染症も含めさまざまな感染症が未だ完全に収束したとは言えない状況です。

また、世界でも類をみない我が国の高齢化社会において、認知症は増加の一途を辿る疾患であり、厚労省研究班によれば、認知症の高齢者は2040年には580万人余りにものぼると推計されています。

こういった中、患者さんやご家族に専門的な知識と技術を提供するとともに、看護師をはじめ医療スタッフへの指導を通し、質の高い感染対策および認知症ケアに寄与できる看護職者の育成は重要であり、「感染管理」ならびに「認知症看護」分野の認定看護師教育課程を継続することは本学の「使命」であると考えております。

本学はこれまで、A課程の「緩和ケア」および「認知症看護」認定看護師を400名以上排出してまいりました。この間、令和5年度から感染管理分野において特定行為研修を含むB課程を開講し、今年度は3期生12名の皆さんを迎えることができました。さらに今年度から認知症看護分野B課程を開講し、8名の皆さんは第1期生となります。

両課程の開講に向けては、山梨県より助成金制度の設置など多大なご支援をいただきました。また山梨県看護協会や看護学部同窓会からも多くのご支援をいただきました。この場をお借りして関係各機関の皆様に厚く御礼申し上げます。

地球上では今、この瞬間も戦争や病によって、多くの命が失われております。一方で、大阪万博に代表される世界博覧会では様々なテクノロジーや新たな価値観が生み出されるコンセプトが提示されています。AIとの共存も含め、情報があふれている現代社会において、皆さんには、物事の本質を見極める力に磨きをかけていただきたいと願っています。そのためには、例えば実際に施した医療・看護に対する、患者さんやご家族の直接的な反応や行動を記録、分析し、そこから深い「気づき」を得るなど、常

に現象を実証的に解析して洞察する力を向上させることが重要になると思います。教職員一同、責任をもって皆さんの創造的学びを支援していく所存です。

結びになりますが、本教育課程での学びにより、皆さんの高い志が成就されることを心からご祈念申し上げ、私の式辞といたします。本日は誠に
おめでとうございます。

令和 7 年 5 月 20 日

山梨県立大学 理事長・学長 早川正幸